

## 黒板問題 25 の質問の回答

平成 30 年 12 月 3 日

$$w = A \cos^{-1} \left( \frac{z}{a} \right)$$

の虚部  $v = \text{Im}(w)$  によってポテンシャルが与えられる場合を考える。  $w = u + iv, z = x + iy = re^{i\theta}$  とする。

$$\begin{aligned} \frac{z}{a} &= \cos \left( \frac{w}{A} \right) \\ &= \cos \left( \frac{u}{A} \right) \cosh \left( \frac{v}{A} \right) - i \sin \left( \frac{u}{A} \right) \sinh \left( \frac{v}{A} \right) \end{aligned}$$

より、

$$\frac{x}{a} = \frac{r}{a} \cos \theta = \cos \left( \frac{u}{A} \right) \cosh \left( \frac{v}{A} \right) \quad (1)$$

$$\frac{y}{a} = \frac{r}{a} \sin \theta = -\sin \left( \frac{u}{A} \right) \sinh \left( \frac{v}{A} \right) \quad (2)$$

である。

金属に与えられている電荷を求めるには、  $r \rightarrow \infty$  の極限を考える。  $|\cos(\frac{u}{A})| \leq 1, |\sin(\frac{u}{A})| \leq 1$  より

$$\begin{aligned} \cosh \left( \frac{v}{A} \right) &\rightarrow \infty \\ \sinh \left( \frac{v}{A} \right) &\rightarrow \infty \end{aligned}$$

とならなければならないので、

$$v \rightarrow \infty$$

である。この極限で

$$\cosh \left( \frac{v}{A} \right) \cong \sinh \left( \frac{v}{A} \right) \cong \frac{1}{2} e^{\frac{v}{A}} \quad (3)$$

と近似でき、また式 (2) を式 (1) で辺々を割って

$$\tan \theta \cong -\tan \left( \frac{u}{A} \right) = \tan \left( -\frac{u}{A} \right)$$

より

$$\theta \cong -\frac{u}{A} \quad (4)$$

となる。

以上の式 (1)~(4) を用いると、 $r \rightarrow \infty$  の極限で、

$$\begin{aligned}\frac{r}{a} &\cong \frac{1}{2}e^{\frac{v}{A}} \\ \frac{v}{A} &\cong \ln\left(\frac{2r}{a}\right) = \ln(r) + \text{const.} \\ v &\cong A \ln(r) + \text{const.}\end{aligned}$$

これは、線密度  $2\pi\epsilon_0 A$  の電荷をもった細線が作るポテンシャルと等しい。よって金属に与えられた電荷は線密度  $2\pi\epsilon_0 A$  であり、また線密度  $\lambda$  となるようにするには  $A = \frac{\lambda}{2\pi\epsilon_0}$  と置けばよい。■